



社会福祉法人 今川学園
今川学園園長 篠瀬実千代
平成 28 年 11 月 1 日

冬の感染症～予防のポイント～

冬は風邪やインフルエンザをはじめとする感染症が流行しやすくなるのはなぜでしょう。ウィルスは低温・低湿度を好みます。けれども人は、外気温が下がることによって、体温も免疫力も低下します。そのため冬はインフルエンザをはじめ、風邪や急性胃腸炎などの感染症が流行します。特に乳幼児がかかると重症化する場合もあり、感染症を「予防」していくことが大切です。感染予防に一番有効だといわれているのが手洗い・うがいです。外出後、食事前、トイレ後には手洗い・うがいを習慣つけましょう。園では子どもたちに「あわあわ手洗いの歌」で手洗い指導をしています。ご家庭でも子どもたちと一緒に歌いながら楽しんで手洗いの習慣をつけてみましょう。



液体せっけん
で手を洗おう



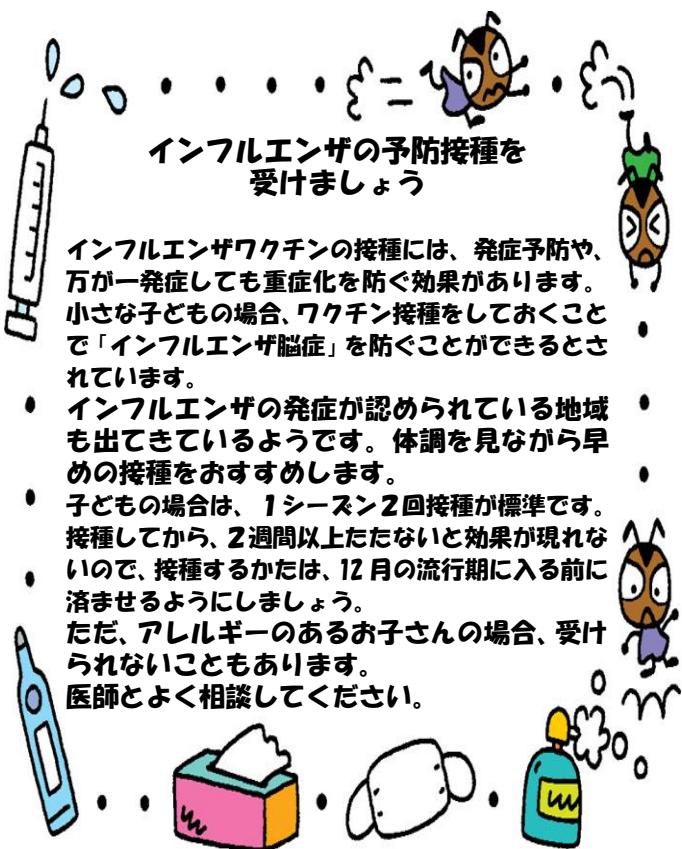
がらがら・
ぶくぶく
うがいをしよう



3食しっかり
食べよう



早寝早起き
しよう

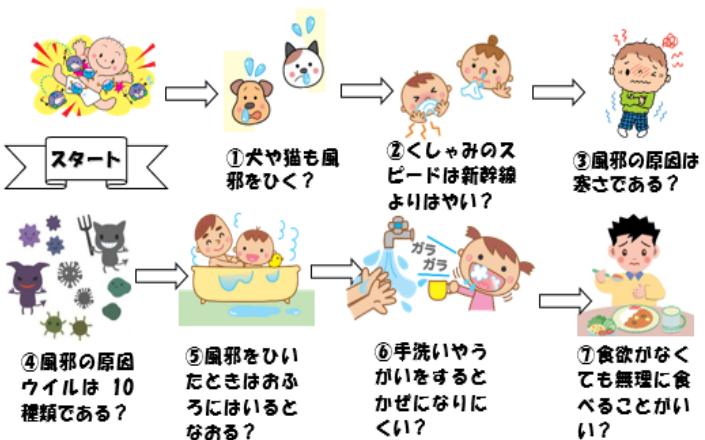


インフルエンザの予防接種を 受けましょう

インフルエンザワクチンの接種には、発症予防や、万が一発症しても重症化を防ぐ効果があります。小さな子どもの場合、ワクチン接種をしておくことで「インフルエンザ脳症」を防ぐことができるとされています。
・ インフルエンザの発症が認められている地域も出てきているようです。体調を見ながら早めの接種をおすすめします。
・ 子どもの場合は、1シーズン2回接種が標準です。接種してから、2週間以上たたないと効果が現れないで、接種するかたは、12月の流行期に入る前に済ませるようにしましょう。
ただし、アレルギーのあるお子さんの場合、受けられないこともあります。
医師とよく相談してください。

かぜクイズ

○か× どちらでしょう？



＜こたえ＞

- ① ○ 犬や猫、猿、馬などいろいろな動物が風邪をひきます。 ② ○ くしゃみは1秒で80mとびます。 ③ × 寒さだけでは風邪はひきません。ウイルスや、細菌が原因です。 ④ × 200種類以上のウイルスや細菌があります。 ⑤ 熱があるときにお風呂に入ると体力を消耗してしまい、悪化することがあります。 ⑥ かぜがうつる原因のほとんどが、手から体の中にウイルスや細菌が入ることです。 ⑦ かぜでおなかの調子が悪くなっていることもあるので、食べられるものを食べて、ゆっくり休むことが大切です。でも水分はしっかり取りましょう。

あわあわ 手あらいのうた

おねがい、おねがい

カメさん、カメさん

あの さんかくの

お山のうえで

おおかみ

おつとつとつと

おつこちそう



いそいでバイクを

ぶるるんうんてん

ききいっぱい

つかまえた！

ありがとう カメさん

みんなで

ごちそうです

手をあらいましょ

タオルでふいたら
いただきます



10数えるまですいいだら、



5 バイク
のポーズ

バイクの運転みたいに、
親指をつけ根からぐりぐり。
お口に入りやすい指だからね。



3 お山
のポーズ

てのひらをあわせてスリスリ。
まずはいちばん広い、
ところからしつかりとね。



1 おね
がい
のポーズ

親子ガメのように
両手を重ねてスリスリ。
忘れがちな手の甲もきらんと。



2 カ
メ
のポ
ーズ

きれいなタオルで
ふいて、できあがり！



6 つか
まえた！
のポーズ

手首をにぎってぐりぐり。
お絞かき、お勉強で机にあたる
手首は意外に汚れてる。



4 おお
かみ
のポ
ーズ

おおかみのよう
につめを立てて、ゴシゴシ。
中に隠れたバイク菌を追い出そう。